



# 国公連合

国公連合発行 東京都千代田区神田駿河台3-2-11  
連合会館5F 公務労協内  
TEL 03-5209-6205  
FAX 03-5209-6206  
編集発行人 荘司真佐人

## コロナ禍のなか―連合第17回定期大会開催―

# 連合に新しい風 ―初めての女性の会長を選出―



新体制のもと連合一致団結を確認

連合は、10月6日、都内で第17回定期大会(2年に1度の隔年)を開催した。大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言下のため、執行部と議員のみ集合で、他の役員と傍聴はリモートによるweb併用の開催となった。

「安心社会」新たなチャレンジ」すべての働く仲間とともに『必ずそばにいる存在』をスローガンに掲げ、向こう2年間の運動方針等の確認及び新執行部を選出した。

冒頭、神津会長は「コロナ禍のなかで、我が国の社会的セーフティネットの脆弱性が露呈し、弱いものにより深刻な影響が出た。今後の社会的不安の中で、ジェンダー平等・人権・多様性が尊重され、希望が持てる社会へとしていかなければならない。また、労働組合もニューノーマルの運動スタイルを構築していくことが求められている。『すべての働く仲間とともに』必ずそばにいる存在』になっ

ていくことが問われている」旨訴えた。また、退任の口上とともに「連合の組合員の皆さんが一丸となって新しい体制を支えてほしい。」と呼びかけた。

感染対策の関係上、来賓あいさつはビデオメッセージと



芳野新会長

なり、また、時間的制約もあり、運動の経過・会計報告の後、「2022～2023年度運動方針」等が次々と上梓され、確認されました。

新役員の選出では、芳野友子会長(JAM)をはじめ62名が確認された。武藤国連合委員長も中央執行委員として再選された。

## 2021 連合中央女性集会 Change・Challenge・Movement!

―ジェンダー平等で多様性を認め合う社会をつくらう―



トークセッションの様子

2021連合中央女性集会は、長引くコロナ禍のなかで昨年に引き続きweb開催となった。

集会は、連合発表で1064アカウントが参加し(二つシユ)をメインテーマに始

められた集会は、連合史上初の女性会長・芳野会長から主催者を代表して、「ガラスの天井を突き破り会長に選出された。地方でも続く人が出てほしい。マスコミに会長候補として名前が出たとき、多くの女性たちから喜びと激励の声をいただいた。ジェンダー平等



立教大学  
首藤教授

のモニターで複数の視聴者は、場合もアカウント)、国公連合からは67名が視聴参加した。「ジェンダー平等で多様性を認め合う社会をつくらう!」を認め合う社会をつくらう! 『推進計画フェーズ1』で2030500ヘスタートダツシユ)をメインテーマに始

最後に「働くことを軸とする安心社会」に向け、すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」としての連合運動を切り拓こう!で結ばれた「大会宣言」が満場の拍手で確認され、閉会した。

等々の社会を目指して、男女に関係なく困っている人に寄り添い、全力を尽くしていきたい」と力強く訴えた。

その後、トークセッションでは、井上局長が進行役となり、首藤教授、芳野会長、清水事務局長が会場からの質問に答えたり、これからの連合の運動への期待や決意などを述べるなど有意義なセッションとなった。

最後に、集会アピールが採択され、web開催であったが非常に充実した集会成为った。

**愛のカンパ金 募集**

「連合愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO団体等の事業・プログラムへの支援を行っています。皆様のご協力をお願いいたします。

取組期間：2022年1月まで

※詳しくは各組合へお問い合わせ下さい。

## 第21回定期大会

# コロナ禍においても連携を強化し、 良質な公務・公共サービスを確立させよう!

国公連合は10月12日に、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、都内で第21回定期大会を開催し、新たな年度の運動方針や役員執行体制などを確立した。

議長団には、熊木代議員(全駐労)と倉本代議員(税関労組)を選出して進められた。武藤委員長のあいさつでは、引き続きコロナ禍における厳しい社会情勢のもと、職場や地域で安心・安全な公共サービスの展開や国公連合運動の前進に果敢に取り組んでいく役員・組合員に敬意を表

した上で、様々な自然災害からの復興・再生と被災地・被災者に寄り添う支援を継続することを訴えた。また、直面する課題として、社会・経済・政治の動向や本年の人的動向に基づき与法改正の取扱い、人事院の退職手当見直し調査、定年引上げに向けた環境整備、政労連や全駐労の取

組、国家公務員の労働基本権問題等について触れ、組織強化・拡大については、「この1年間コロナ禍の中で『運動の見える化・見える化』を推進するため、webなどを活用しながら取組を展開してきた。2021年度もウイズコロナの取組を継続せざるを得ないが、全国の役員、組合員の理解と揺るぎない団結を切

るために、コロナ禍にあっても構成組織との連携を強化することや連合に集う仲間を中心に公務・公共に対する理解の輪を広げることが重要」「労働組合としての社会的責任と役割を果たすことによつて、連合がめざす『働くことが軸とする安心社会』が実現するよう、力強く運動を展開していくことを確認し、大会は閉会した。



主催者を代表してあいさつする武藤委員長



国公連合「団結がんばろう」

る」とのあいさつがあり、公務労協の吉澤事務局長からは、給与法をめぐる厳しい展望と役員交代に伴うさらなる連携強化の意が示された。

議案審議では、2人の代議員から共闘行動に関する報告や平和行動に関する意見が出され、荘司書記長が執行部見解を述べた。(次面に概要)

### 運動方針が満場一致で可決

議案採決では、2021年度運動方針をはじめとしたすべての議案が満場一致で承認された。また、役員選挙では全員が信任され、武藤委員長の下での新体制が確立した。大会宣言では「われわれが直面する数々の課題を解決するために、コロナ禍にあっても構成組織との連携を強化することや連合に集う仲間を中心に公務・公共に対する理解の輪を広げることが重要」「労働組合としての社会的責任と役割を果たすことによつて、連合がめざす『働くことが軸とする安心社会』が実現するよう、力強く運動を展開していくことを確認し、大会は閉会した。」

### 神田駿河台

#### 不利益不遡及の原則

世の中には『不利益不遡及の原則』という言葉がある。つまり、民間企業においては、一度支払われた賃金を過去に遡って引き下げることは許されず、ましてや減額分を給料やボーナスから差引くなど言語道断というわけだ。しかし、民間給与と均衡を図ることを基本に調査、分析、比較して内容を決定する現下の人事院勧告制度の下での公務員給与の取り扱いにはこの原則は通用しないらしい。

【智】